

Ⅰ. 川がつくる地形と生活との関わり

(1) 資料Ⅰの①～⑧の河川名と川の長さを調べてみよう。

	河川名	長さ		河川名	長さ
①	石狩川	268 km	⑤	木曽川	229 km
②	北上川	249 km	⑥	吉野川	194 km
③	利根川	322 km	⑦	淀川	75 km
④	信濃川	367 km	⑧	筑後川	143 km

資料Ⅰ 日本の主な川と平野・盆地の分布



(2) 日本の河川の特色を挙げてみよう。

(例) 世界の河川と比べると短くて流れが急な河川が多い。

(3) 資料Ⅱを参考に、扇状地の地形の特色と土地利用を説明してみよう。

地形の特色	(例) 川が山間部から平野や盆地に出た所につくられ、扇状地の中央部は、粒の大きい砂や石からできていて水が地下にしみこみやすい。
土地利用	(例) 扇状地の中央部は水はけがよいことから果樹園などに利用されている。

資料Ⅱ 扇状地



(4) 資料Ⅲを参考に、三角州の地形の特色と土地利用を説明してみよう。

地形の特色	(例) 川の河口部につくられ、粒の小さい砂や泥からできているため、水が地下にしみこみにくい。
土地利用	(例) 古くから水田として利用されてきたが、近年は、住宅地として開発されることも多い。

資料Ⅲ 三角州



(5) 資料Ⅳを参考に、台地の地形の特色と土地利用を説明してみよう。

地形の特色	(例) 川や海沿いの平地よりも一段高くなった平らな土地で、水を得にくい。
土地利用	(例) 水が得にくいため、畑や茶畑、住宅地などに利用されている。

資料Ⅳ 台地



2. 変化に富んだ日本の海岸

- (1) 地図帳を見て、資料Ⅴのようにリアス海岸が見られる都道府県名を調べてみよう。

(例) 岩手県、宮城県、福井県、三重県、愛媛県、長崎県 など

資料Ⅴ



- (2) リアス海岸の特徴を挙げてみよう。

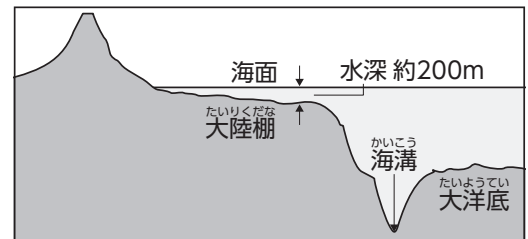
(例) 海岸線が入り組んでおり、入り組んだ湾内は波が穏やかで水深が深いことから、天然の良港として使われ、貝やわかめなどの養殖が盛んに行われてきた。

3. 日本を取り巻く海

- (1) 資料Ⅵを参考に、日本周辺の海洋の地形の特色を説明してみよう。

(例) 日本列島の近海の海底は海岸から緩やかに傾斜が続く大陸棚が広がっている。太平洋の側の大陸棚の先には、水深が8000mを超える海溝がある。

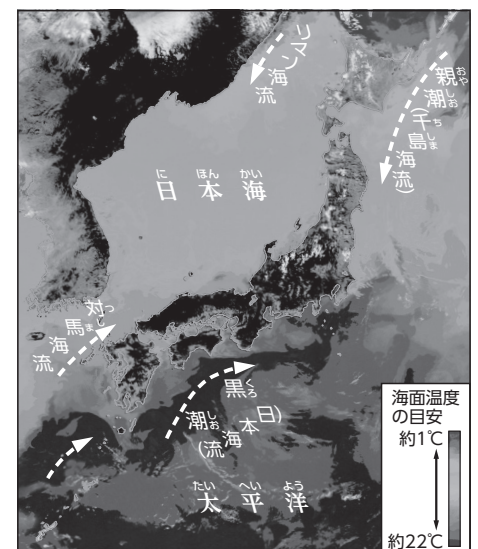
資料Ⅵ 大陸棚の模式図



- (2) 資料Ⅶに示されている海流を寒流と暖流に分け、それぞれの特徴を説明してみよう。

	寒 流	暖 流
海流名	親潮（千島海流） リマン海流	黒潮（日本海流） 対馬海流
特 徴	(例) 高緯度から低緯度 方向へ流れる、周 辺の海水よりも低 温な海流	(例) 低緯度から高緯度 方向へ流れる、周 辺の海水より高温 な海流

資料Ⅶ 日本周辺の海流



本時のまとめ

◆ 日本近海の様子を、「大陸棚」、「黒潮」、「親潮」の語句を使って説明しよう。

(例) 日本の近海には浅くて平らな大陸棚が広がっているうえに、関東地方から東北地方の沖合いでは黒潮と親潮がぶつかり、海底の栄養分が巻き上げられてプランクトンが集まるので、世界有数の漁場となっている。